



## 東京都最低賃金のお知らせ

令和7年10月3日から **時間額**

# 1,226円

前年比 **63円UP**

～東京で働く全ての労働者に東京都最低賃金が適用されます～



## 10月3日より東京最賃 時給1226円に

### 「新最賃額の周知」中目黒駅宣伝

9月30日の夕方、「東京の最賃額 1226円に、10月3日より」と中目黒駅で宣伝を行いました。13名の組合員参加で開始しましたが、残念ながら午後6時過ぎに突然の強雨で、終了となりました。（目黒労協/事務局）



### 蜜室の2025 東京最賃「審議」

8月7日、第450回東京地方最低賃金審議会は、「63円引き上げで時給1,226円とする」答申。しかしこの審議会は開始30分前の公示で、傍聴者もない状態で開催。この低額答申には、合計89件の「異議」が提出されましたが、8月25日の審議会で異議は30分の審議ですべて却下され、「10月3日発効」と決まりました。全国的には40道府県で、中賃目安を上回る各県最賃が決まりましたが、東京最賃は13年連続「目安」通りで、引上げ額・率は全国最低です。

### 「意見書」や「異議」にも取り合わず

都内多数の組合、目黒労協、めぐろユニオンなどの目黒各労組も東京最賃審議会へ、意見書・異議を提出しましたが、最賃審議会審議ではまとめて紹介されただけで、議論もされませんでした。

#### 【東京最賃「意見書」】

	日程	審議会	意見書	審議時間
2023年	8/1	第434回	108通	—
2024年	7/30	第441回	149通	—
2025年	8/1	第448回	196通	55分

#### 【東京最賃「異議書」】

	日程	審議会	異議書	審議時間
2023年	8/23	第436回	96通	—
2024年	8/21	第443回	168通	—
2025年	8/25	第450回	89通	31分

# 2025 東京地方最低賃金審議会 審議一覽

☆8月1日第448回:傍聴希望12—当選1、第449・450回:傍聴募集公示日時不明 結果傍聴者0名

開催日	議事録	議事要旨	傍聴希望	傍聴		開催時刻	時間	
6月30日 第447回	◎	○	12人	6	諮問	10:00～10:34	34分	委員・会長任命 加藤 委員退任挨拶
8月1日 第448回	◎	○	12人	1	意見書	15:00～10:55	55分	大島・神委員 ひとこと
8月1日①	◎	○		1	部会長選出・労使意見	16:30～16:55	25分	
8月4日②		○		×	労使意見	10:00～12:01	121分	
8月4日③		○		×	発効日議論	14:00～15:24	84分	
8月5日 第449回	◎		★公示日不明 7/295:00≠切	0	中賃目安	13:30～14:12	42分	2名欠・2名 Web 労 使見解使側 3名意見
8月5日④		○		×	労:7.07% 使:1/1 施行	15:00～18:17	197分	
8月6日⑤		○		×	労:発効日今年は× 使:5%以上なら 1/1	13:54～20:41	347分	
8月7日⑥		○		×	公益 1226 円提示	10:00～15:10	310分	
8月7日 第450回	◎	○	8/1 ★ 公示時間 不明 1:30≠切	0	答申	16:16～17:06	50分	資料:専門部会報告 裁決:反対 5
8月25日 第451回	◎	○			異議 89 件	10:58～11:29	31分	公2・使1欠席 Web1

## 全国では最低賃金発効日の先延ばしが多数に！

2025 最賃は、中央審議会が「目安」63 円と 64 円引上げを答申。全国では 40 道府県でこの目安を上回る各県最賃が決まりました（2024 年は 27 県で上乗せ）。

しかし今年は、最賃引上げを 10 月に実施しない県が 26 府県に、中でも秋田県や群馬県など、実質的な最賃引上げが半年遅らされる県があらわれました。

秋田では、中賃「目安」を 16 円上回る 80 円の引上げを行いました。実施は半年先の 3 月 31 日。実質的には 40 円の引上げに過ぎません。これに対し全国から「異議」申し出をと、目黒からもめぐろユニオンから異議を提出しました。（＊目黒労協 HP 収録）

最低賃金の発効日を遅らせようという使用者側の姿勢は、全国ほとんどで見られ、東京でも使用者側は「1 月 1 日実施」を主張。これらの大本は 2025 年 1 月の「財界の春闘方針」と呼ばれる、「経団連 2025 年版経営労働政策特別委員会報告」での主張から始まる、財界挙げての策動です。

## 郵政非正規賃金は全国一斉 10 月 1 日改訂

日本郵政グループは約 45%が非正規社員です。賃金は、各地域の最低賃金の 10 円単位を切り上げた額に、さらに 20 円を上乗せした額です。2025 年も全国一斉に 10 月 1 日改訂を獲得！ 生協労連、富士そばなどのゼンショーグループでも、労働組合が同様の交渉を続けています。

# 地域でも労組定期大会が行われています

夏から秋は労働組合の「定期大会」シーズンです。目黒区内でも、目黒労協加盟の組合では労協代表が来賓参加しています。また友好労組でも大会が行われており、可能な限り「取材」参加をお願いしています。労協が参加した大会では参加者より報告を、参加できない場合は当該労組よりの報告を、できるだけ「労協ニュース」で報告していきたいと思います。（編集部）

## JMITU 目黒地域支部

9月29日(月)の午後、JMITU 目黒地域支部の第72回定期大会が、地域支部事務所で行われました。平日の昼間ということもあり、目黒労協には来賓要請しませんでした。JMITU 目黒地域支部が所属する「南部地協」より、議長と事務局長が参加し、連帯の挨拶をいただきました。

目黒地域支部は現在、現役の分会がなく「地域分会」のみで、対経営者要求・交渉がありませんが、闘っている組合や組合員の支援を第一の活動目標に掲げています。産別ではJMITU関係の仲間を、地域では目黒労協の活動を中心に、活動参加と支援に取り組んできました。組合事務所を維持のためにも、「組織の拡大強化は待ったなし」を、喫緊のメインスローガンに掲げながら、社会福祉の問題、憲法・平和の課題などの取り組みも、可能な限り追及することを確認しました。未組織のお知り合いがいましたら、ぜひ「JMITU 目黒地域支部」にご紹介を宜しくお願いします。（JMITU 目黒地域支部/書記長）



## 年金者組合目黒支部

10月5日(日)の午後、全日本年金者組合目黒支部の第37回定期大会が八雲住区センターで行われました。「年金者組合」は規約の「目的」を、「この組合の目的は、年金、医療、介護、福祉など社会保障制度の確立、年金生活者と高齢者等の生活と権利の維持・向上です(第3条)」としており、労働組合法で規定する「労働組合」とは一線を画しています。地域では目黒区労連に加盟しており、目黒労協には加盟していませんが、地域での共同の取り組みや宣伝行動など、一緒に活動している友好団体です。



区内に居住の「年金生活者」を中心に組織され、現役時代は労働組合で活動された方も多くいます。組合員は120名を超え、さらに多くの仲間増やしを目指し、楽しいサークル活動が盛んに行われています。「現役」の組合活動とは趣が違いますが、仲間増やしの取り組みや組織の運営など、私たちの参考となることも多くありますので、ぜひ機会を作って交流してみてください。（目黒労協/事務局）



# 続けています争議支援への参加

## 心理職ユニオン 東京都スクールカウンセラー雇止め争議

10月21日、スクールカウンセラー争議の第5回弁論・東京地裁傍聴支援。傍聴席は40人以上満員で、入れない人もおり、首都圏青年ユニオン組合員の一部は、法廷外で待機。終了後は弁護士会館での報告集会に移動。報告集会では、笹山弁護士より報告。2025年に採用された原告もあり、



訴えの変更で、地位確認のみならず、2024採用行為の不当性も追求する。面接までして、2000人以上の東京都各学校のスクールカウンセラーを、それまでの「勤務評定」を一切生かさず250人余りを不採用としたこと＝任用行為の不当性を争う。面接のマニュアルは不存在と言っているが、「質問例」があることは認めたので、それを裁判に出させる、などが話されました。

(めぐるユニオン/通信員)

## ケア労働者の処遇改善・制度改革 アクション2025 中目黒駅宣伝



2025年10月9日の夕方、中目黒駅にて「ケア労働者の処遇改善・制度改革アクション」宣伝。東京地評の「全都での単産＋地域の共同行動を」の呼びかけに応え、目黒労協・目黒区労連・目黒社保協の共催で、宣伝を実施。労協5名他10数名で、マイク宣伝・ティッシュ配布を1時間展開しました。介護・医療・保育などケア業界の問題を取り上げて、チラシを受け取る労働者も少なくない。次は「教育アクション」11月6日(木)夕方、JR目黒駅にて実施します。(目黒労協/事務局)

地域共闘を拡げ 目黒労協を大きくしよう！  
活動方針の討議・決定

## 目黒労協 第74回定期大会

- ◆11月15日(土) 土建目黒会館/午後 1 時開会
- ◆代議員の確保をお願いします、大会の成功を！